

GAPとは… Good Agricultural Practice の略。

直訳すると「良い・農業の・やり方」となり、農場運営、食品安全、環境保全、労働安全、人権・福祉などの持続可能性を確保するための取組のこと。

家畜・畜産物GAP（日本JGAP協会）では、家畜衛生、アニマルウェルフェア（AW）を加えた取組により、持続可能な農業経営の確立と消費者の信頼確保を目指している。

家畜・畜産物GAP

農場運営

食品安全

環境保全

労働安全

人権・福祉

家畜衛生

アニマルウェルフェア

GAPは、認証取得のために”特別な農場が取り組むもの”と考えている方も多いかもしれませんが、そんなことはありません。

GAPはすでにそれぞれの農場で行われている取組でもあります。今回は、農場でみつけた身近なGAP取組事例についてご紹介します！

食品安全

その1

- ・ミルカーシステムの洗浄、殺菌は、衛生的な生乳出荷に欠かせない作業です。
- ・一方で、使用洗剤の種類や量の間違えなど不備があった場合は、食品安全を脅かすことにもなります。

【事例】

- ・ミルカーシステム等の洗浄につかう資材名を明記し、洗剤の使い間違い等を防止。
- ・規定の洗剤、殺菌剤の量を線で示すことで、農場で働く人全員が一目でわかる仕組み。
- ・透明な容器に入れ、目線の高さに設置することで、資材の残量が確認しやすい。



その2

- ・安全な生乳の出荷は酪農家にとって大事な責務です。
- ・特に生乳への抗生物質混入は健康被害を及ぼす可能性が高いため、抗生物質を投与した牛を間違えて搾らないための対策が求められます。



point
目印はダブルで!



抗生物質使用牛には、
牛体とパイプラインの2カ所に“×印”



point
対策はダブルで!

抗生物質使用中の札
抗生物質使用の牛は牛舎手前に移動

労働安全

- ・農作業事故の多くは、いつもの作業の時に発生しています。
- ・家族や従業員でヒヤリ・ハット体験について話題にすることは、日常に潜む危険に気づくきっかけとなる、すぐにできる労働安全の取組のひとつです。

〈事例〉

- ・冬期間はバンクリーナ稼働部と壁に赤印を付ける。
- 赤印は、バンクリーナーを回して、排出した糞や敷料を全部、落とすことができる位置につけている。
- ・赤印が合うまで、バンクリーナーを回す。
- ・糞や敷料は全て落下するので、残って凍結した糞や敷料を落とすためにバンクリーナーの上に登るといった危険な作業を避けることができる。

※冬期間のみの取組



家畜衛生

- ・家畜衛生では、飼養衛生管理基準が定められ、衛生管理区域の設定や区域内へ病原体の侵入防止、乳牛の健康観察、区域の衛生状態確保などが求められています。



野生動物は
病原菌の
伝搬原因!



飼料が入った容器にフタをする



point 消毒槽にフタを設置



消毒槽に雨水などの混入防止で消毒効果も落ちにくい。



視察者用の使い捨てつなぎを準備



手指消毒を徹底

身近なGAP情報 お問い合わせ先

宗谷農業改良普及センター 本所(中頓別町) 電話:01634(6)1414
北部支所(豊富町) 電話:0162(82)2119



過去の
GAP情報は
HPで!